



第26回おおい祭り

7月26日(日)
来場者
約6万人

湿り気を含んだ夏空の中、ストリートやステージのパフォーマンス、山車を引く子どもたちの笑顔は「ふるさとの記憶」として刻まれました。突然の大雨で4つの山車が集まる「ひっかわせ」やみんなで踊る盆踊りは中止となったものの、大雨が過ぎ去り、よさこいの踊りが再開した後は再び熱気が会場を包みました。終了時には雨も上がり、濡れた路面に光と影が浮かぶ月夜の下で、興奮は静かな余韻へと移り変わりました。





撮影：市民カメラマン安齋哲夫



撮影：市民カメラマン小松貞真



撮影：市民カメラマン吉井真由美



強い日差しと酷暑の中、いつもの見なれた街並みを色とりどりの竹飾りが祭りのにぎわいを染め上げ、大人も子どもも風に揺れる飾りをくぐりながら楽しそうに歩を進めていました。駅の東口・西口は人波で溢れ、威勢の良い掛け声とともに大人神輿や子ども神輿が街を練り歩きました。ストーリーやステージでの太鼓や踊り、パフォーマンスなども盛り上がりを見せ、街中が熱気に包まれた2日間でした。



来場者
約17万8000人
8月8(土)・9(日)



第72回上福岡七夕まつり

